

2019年11月29日
中部電力株式会社

2019年度 中部エリアの冬季電力需給見通しについて

今冬の電力需給は、国等が検証を行った結果、火力増出力運転およびエリア間取引の活用が行われることで、安定供給に最低限必要とされる予備率 3%以上を確保できる見通しです。

< 厳寒 1 点最大電力^{※1} バランス (火力増出力運転およびエリア間取引考慮後) >

	2019年12月	2020年1月	2020年2月	2020年3月
最大電力 (A)	2,300 万 kW	2,397 万 kW	2,397 万 kW	2,233 万 kW
供給力 (B)	2,432 万 kW	2,560 万 kW	2,554 万 kW	2,554 万 kW
供給予備力 (B-A)	132 万 kW	163 万 kW	158 万 kW	321 万 kW
供給予備率 (%)	5.7 %	6.8 %	6.6 %	14.4 %

※1：至近 10 か年で最も厳寒であった年（2017 年度）と同程度の気象条件が発生した場合の最大電力
注）四捨五入の関係で計算が合わない場合があります

< 国等による電力需給検証 >

電力広域的運営推進機関「調整力及び需給バランス評価等に関する委員会」

https://www.occto.or.jp/houkokusho/2019/denryoku_jukyukensho_20191030.html

経済産業省「総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 電力・ガス基本政策小委員会」

第 21 回 資料 5-1, 2

https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/denryoku_gas/021.html

以 上